



まっことが できます

かくれている絵をさがそう
(サッカーボール
カサ、数字の3、4
さんかく
三角じょうぎ)

神様から大きなことを待ちなさい。神様のために大きなことを試みなさい。(ウイリアム・キャリー)

ていこいのせいこう
定刻祈りに成功したらチェックしよう

出 32:1~14 あなたのしもべアブラハム、イサク、イスラエルを覚えてください。あなたはご自身にかけて彼らに誓い、そして、彼らに、『わたしはあなたがたの子孫を空の星のようにふやし、わたしが約束したこの地をすべて、あなたがたの子孫に与え、彼らは永久にこれを相続地とするようになる』と仰せられたのです。」すると、主はその民に下すと仰せられたわざわいを思い直された。(13-14)

エジプトから出てきたイスラエルの民が荒野に到着すると、神様はリーダーであるモーセを山に呼ばれました。ところが、多くの日がすぎても、モーセは山からおりて来ませんでした。モーセがおりて来ないので、イスラエルの民は不安になりました。待ちくたびれたイスラエルの民は、モーセのお兄さんであるアロンに、自分たちのために、神を作ってくださいと叫びました。アロンはしかたなく、不安に思っているイスラエルの民をしずかにさせて、彼らから金をもらって金の子牛を作りました。ところで、偶像を作ったイスラエルの民を見ておられた神様は、いかられました。その時、リーダーのモーセが神様にいのちをかけて祈りました。幸いにも、神様はモーセの切実な祈りを聞いてくださったのでした。ときどき、自分の思うとおりにならないことがあります。神様を信じて祈ることができるようにお祈りしましょう。

父なる神様、神様を信じることができない私の思いどおりに行動することがないように、私を守ってください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。



02

ヘルメスによろしく

Thu 木曜日

ていこくのせいこう
定刻祈りに成功したらチェックしよう

ローマ 16:14

アスクリト、フレゴン、ヘルメス、パトロバ、ヘルメスおよびその人たちといっしょにいる兄弟たちによろしく。

むかしには鍵、石頭のような名前をどれいにつけました。パウロが伝道をしたローマでも、アスクリト、フレゴン、ヘルメス、パトロバ、ヘルメスという名前をどれいにつけていました。

パウロはこの人にもよろしくと言ったのでした。特別にすぐれた事をしなかったし、一番低く、いやしいどれいの身分だったのですが、クリスチャンだったからです。彼らはたとえどれいだったとしても、どんな状況や境遇にいても、イエス・キリストを信じて神様の約束をにぎって、福音のために生きました。

レムナントも、どんな状況にあっても、または勉強がよくできてもできなくても、からだが強くて弱くても、人気があってもなくても、イエス・キリストをしっかりと信じて神様の約束を土台にしましょう。そして、伝道したい友だちに、いつでも祈ってくれている両親に、みことばを伝えてくれる牧師先生に心をこめて手紙であいさつを送りましょう。

朝鮮のあいさつを愛し、また彼らをイエスに導くことを願った一サムエルF. ムーア宣教師の墓標

原

神様が私にくださった
約束がなになのか考えて
みよう！（黙想しよう）

父なる神様、今日も神様のみことばを土台にして、だいたんに出て行くことができるように祝福してください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。

天国の銀行の最高の口座は、宣教師の口座である一未詳一



ていこくのせいこう
定刻祈りに成功したらチェックしよう

出 32:1~14 あなたのしもべアブラハム、
イサク、イスラエルを覚えてください。あ
なたはご自身にかけて彼らに誓い、そうし
て、彼らに、『わたしはあなたがたの子孫を
空の星のようにふやし、わたしが約束した
この地をすべて、あなたがたの子孫に与え、
彼らは永久にこれを相続地とするよう
になる』と仰せられたのです。」すると、主
はその民に下すと仰せられたわがわがを思
い直された。(13-14)

やきゅう しあい
野球の試合を見ていると、やきゅう かんたく せんしゅ
野球の監督と選手が
相手チームにわからないようにサインを交わし
ます。そのサインが正しくつうじれば、試合に勝
ったりします。

せいしよ
聖書のレムナント 7 人も神様とつうじるサインがあ
りました。それで、彼らは無条件に祝福を受けました。

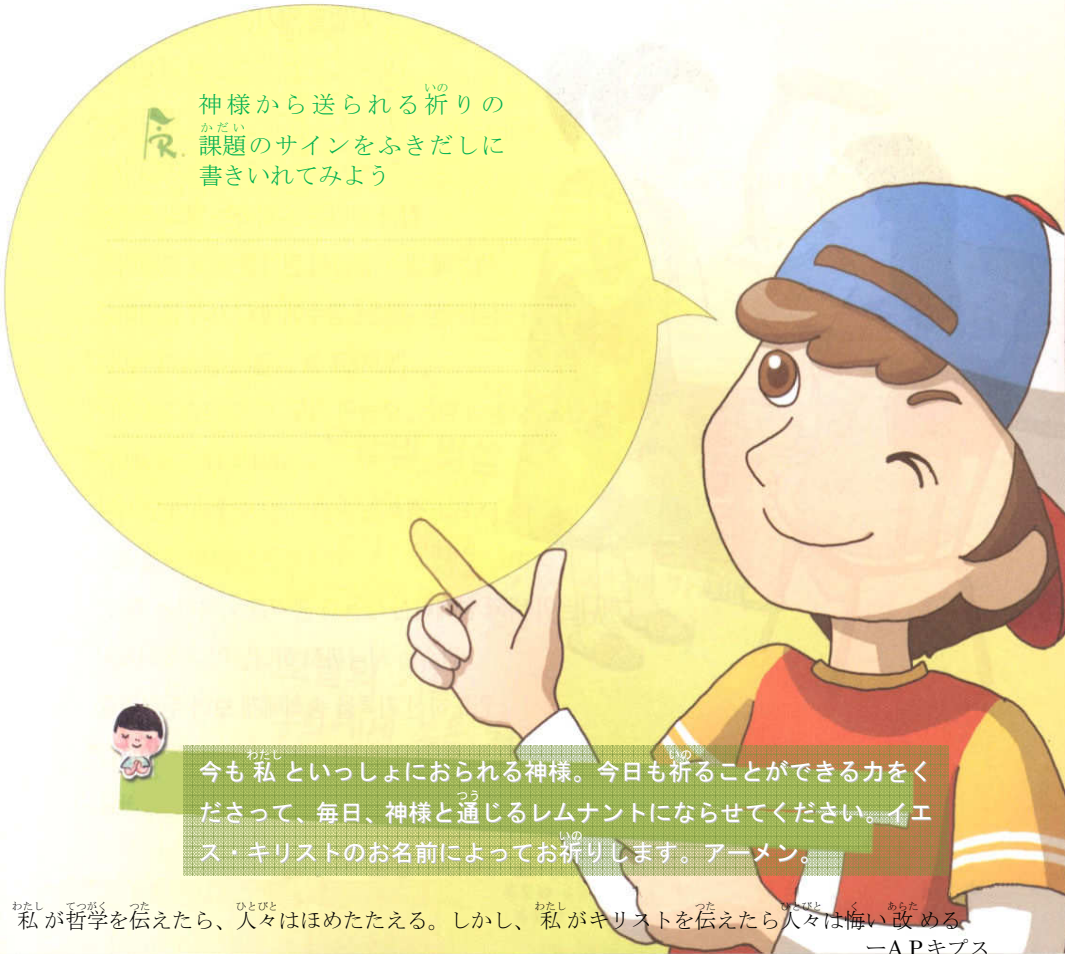
「あなたは生ける神の御子キリストです」と言ったペ
テロの告白も、神様とつうじるサインです。この告白を
したペテロを神様は祝福してくださいました。私
たちも手をあわせて、目をとじて祈りのサインを送っ
てみましょう。そのとき、神様はみことばのサインで私
たちに答えてくださいます。

さあ！この時間、神様にサインを送ってみましょう。

こじんてき すく
個人的なたましいの救いは、くちびるのろんそう
論争より、なみだ うた
涙をながす訴えのほうがより多くの効果がある—未詳—

かみさまと つうじる サイン! 03

Fri 金曜日



神様から送られる祈りの
課題のサインをふきだしに
書きいれてみよう



今も私といっしょにおられる神様。今日も祈ることができる力をく
ださって、毎日、神様と通じるレムナントにならせてください。イエ
ス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。

わたし てつがく つた
私が哲学を伝えたら、ひとびと
人々はほめたたえる。しかし、私がキリストを伝えたら人々は悔い改める。

—A.P.キブス

04

Sat. 土曜日

今日の答えを記録しよう

おはなし黙想 1



事業^{じぎょう}をしているケイコの両親^{りやうしん}が
1泊2日^{はくちほうしゅつちよう}で地方^{ちほう}に出張^{しゅつちよう}に行きました。

それで、ケイコは隣^{となり}の家の友だち、
マユミの家^とで泊まることになりました。
ねむろうとするマユミとちがって、ケイコは
机^{つくえ}にすわって熱心^{ねっしん}に何かを書^かいていました。
ケイコが何^{なに}をしているのかを知^しりたいマユミは、
ケイコに近づ^{ちか}づいてたずねました。

「すわって、なにを熱心^{ねっしん}に書^かいているの？」
「今日の伝道^{でんどう}、今日^{けふ}のみことば、今日^{けふ}の祈^{いの}り、
これ、何^{なに}なの？」

「教会^{きやうかい}でもらった宿題^{しゅくだい}なの？」
ケイコは、マユミのことばに笑^{わら}いが出たのですが、
きちんと説明^{せつめい}してあげました。

「神様^{かみさま}が、私^{わたし}とともにおられる
内容^{ないよう}と証拠^{しやうこ}を書^かいているの」
ケイコは、今まで神様^{かみさま}がとも^{とも}にいて導^{みちび}いて
くださった記録^{きらく}をマユミに見^みせてあげました。

「そんなことを書^かけば、神様^{かみさま}が生き^{はたら}て働く^{はたら}くの？」
マユミは、ケイコのことばを聞^きこうと
しませんでした。

神様^{かみさま}が願^{ねが}われることをしようとして、私^{わたし}たちの力^{ちから}の限界^{げんかい}にぶつかることは、たびたびあるが
神様^{かみさま}の力^{ちから}は限界^{げんかい}にぶつかることはないーハドソン・テイラー

定刻^{ていこく}祈^{いの}りに成功^{せいこう}したらチェックしよう



「神様^{かみさま}は目^めには見^みえないけれど、
今^{いま}も私^{わたし}とともにおられて、私^{わたし}がどこに行^いっても導^{みちび}いておられるの」
ケイコのことばに、マユミは信^{しん}じられないように首^{くび}をかしげました。
「私^{わたし}は神様^{かみさま}のことをよく信^{しん}じられないし。本^{ほん}当^{とう}に神様^{かみさま}が生き^{いき}ておられるの？」
ケイコは、マユミの質^{しつもん}問^{もん}に、その場^ばで福^{ふく}音^{おん}を伝^{つた}えました。
そしてイエス様^{イエスさま}を救^{すく}い主^{しゅ}として受け入^うれたマユミと教会^{きやうかい}にいしょに行くことを
約^{やく}束^{そく}しました。
マユミは寝床^{ねどこ}に入^いって、ケイコは、祈^{いの}りの手帳^{てちょう}に今日^{けふ}の答^{こた}えを記^き録^{ろく}しながらねむ
ったのでした。

